

1. 令和2年10月～12月期の景気動向

今期のDI平均値は△55ポイントで、サービス業では29ポイント、小売業15ポイント、製造業8ポイントのプラスとなった。前期7～9月期の△61ポイントから6ポイントの改善したが、依然として各業種ともに厳しい状況が続いている

業種 項目		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
		10～12月	1～3月	10～12月	1～3月	10～12月	1～3月	10～12月	1～3月	10～12月	1～3月
		今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高		△ 50 (△ 67) 	△ 44 (△ 34) 	△ 68 (△ 62) 	△ 54 (△ 66) 	△ 89 (△ 78) 	△ 78 (△ 78) 	△ 64 (△ 84) 	△ 64 (△ 65) 	△ 61 (△ 82) 	△ 62 (△ 82)
採算		△ 38 (△ 33) 	△ 53 (△ 40) 	△ 54 (△ 44) 	△ 52 (△ 52) 	△ 67 (△ 78) 	△ 78 (△ 78) 	△ 56 (△ 65) 	△ 52 (△ 50) 	△ 55 (△ 67) 	△ 62 (△ 55)
資金繰り		△ 13 (△ 5) 	△ 19 (△ 26) 	△ 37 (△ 32) 	△ 30 (△ 32) 	△ 44 (△ 22) 	△ 56 (△ 33) 	△ 48 (△ 59) 	△ 48 (△ 48) 	△ 44 (△ 56) 	△ 61 (△ 61)
業況		△ 32 (△ 26) 	△ 32 (△ 46) 	△ 54 (△ 62) 	△ 47 (△ 64) 	△ 78 (△ 62) 	△ 89 (△ 78) 	△ 64 (△ 79) 	△ 60 (△ 56) 	△ 47 (△ 76) 	△ 47 (△ 67)
経営上の 当面する 問題点	1位	民間需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞	
	2位	官公需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		大企業の進出による競争の激化		消費者ニーズの変化への対応		利用者ニーズの変化への対応	
	3位	従業員の確保難		熟練技術者の確保難		その他		その他		その他	
業種別 コメント		<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により全体的に需要は停滞している。来期の見通しは公共工事の予算削減が見込まれるため、特に官公需要が大きく冷え込むことが予想される。</p> <p>また、従業員や下請け企業の確保難を課題に挙げる企業も多く、引き続き対策が必要である。</p>		<p>外出の自粛による巣ごもり需要などもあり、関連業種は好調であったが、全体的には依然として厳しい状況が続いている。</p> <p>長期化する需要の停滞や人材不足などの課題へ対応が必要である。</p>		<p>緊急事態宣言解除後、徐々に業況は回復傾向であったが、感染者数の増加に伴い、今期業況は16ポイント悪化した。さらに大手企業との価格競争もあり、来期見通しも11ポイントのマイナスとなっている。</p>		<p>自粛ムードが長引き、家庭で過ごす時間が増えているため、食品スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどの生活必需品やDIY用品を取り扱う業種は好調であった。</p> <p>今後も外出自粛ムードは続くことが予想されることから、消費者ニーズに対応していくことが求められる。</p>		<p>徐々にではあるが自粛ムードの緩和に加え、テイクアウトメニュー販売の好調などもあり、29ポイントの回復となった。</p> <p>来期は新年会や歓送迎会シーズンを迎えるため、感染症予防対策の徹底を図り、集客アップを図りたい。また、テイクアウトメニューの宣伝広告強化など売上増加に向けた取り組みが必要である。</p>	



※当所では分析にあたってD・I(好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

※()は前回調査時のD・I値